

2019 レーザーミッドウインターレガッタは、日本レーザー・クラス協会主催、日本レーザー・クラス協会、山口県セーリング連盟の運営により、2019年2月8日(金)～11日(月)の期間、山口県光市山口県スポーツ交流村に大会本部を置き、その沖海面にてレースが開催される。

## 帆走指示書

SIにおける[DP]の表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により軽減することができることを意味する。

SIにおける[SP]の表記は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これは、RRS 63.1, A5 および A11 を変更している。

### 1. 規則

- 1.1 本レガッタには、セーリング競技規則に定義された規則が適用される。
- 1.2 RRS 42 に対する特別な処置として付則 P が適用される。
- 1.3 付則 T が適用される。「レース後ペナルティー」を履行した艇の得点略語は「ARB」である。これは RRS A11 を変更している。
- 1.4 RRS 87 に基づき、レーザー・クラス・ルール 7(a)を以下のように制限する：レース中は登録された1名のみ乗艇できる。

### 2. 競技者への通告

競技者への通告は、山口県スポーツ交流村クラブ・ハウスの大会本部に設置された公式掲示板

に掲示する。

### 3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の各クラスの最初の予告信号の時刻の1時間前までに掲示する。ただしレース日程の変更は、発効する前日の19:00までに掲示する。

### 4. 陸上で発する信号

#### 4.1 陸上で発する信号は、

のフラッグ・ポールに

掲揚する。

4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

4.3 音響1声とともに掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗の掲揚後30分以降に発せられる」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れないよう求められる。[DP]

### 5. レース日程

#### 5.1

2月8日(金)

13:00 - 16:30 大会受付

13:30 - 17:00 計測

2月9日(土)

8:00 - 9:30 大会受付および計測

10:00 開会式・ブリーフィング

12:25 最初の予告信号 2レースを予定

2月10日(日)

8:30 ブリーフィング

9:55 3

18:30

2月11日(月)

8:30 ブリーフィング

9:55 最初の予告信号 2レースを予定

16:00 閉会式

閉会式の予定時刻が変更される場合は最終レース終了後掲示される。

5.2 1 1

5.3 1

5

1

5.4 レースの予定された最終日には、13:30 後に予告信号を発しない。

## 6. クラス旗

クラス旗は以下のとおりとする。

クラス	クラス旗
レーザー	白色地に赤のレーザー・マーク
レーザー・ラジアル	緑色地に赤のレーザー・マーク
レーザー4.7	黄色地に赤のレーザー・マーク

## 7. レース・エリア

添付書 A0.にレース・エリアの位置を示す。

## 8. コース

8.1 添付書 A1~4. の見取図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークのどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

8.2 各クラスの予告信号以前に帆走するコースを示す数字旗をレース委員会の信号艇に掲揚する。

旗	コース
数字旗 1	1
数字旗 2	2
数字旗 3	3

数字旗 4	4
-------	---

8.3 予告信号以前にレース委員会の信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

8.4 4レグ以上帆走したマークでフィニッシュすることでコース短縮することがある。

## 9. マーク

9.1 コース 1、2、3 の場合、マーク 1、2 および 5 は、緑色円錐形ブイ、マーク 3S、3P、4S、4P および 4A は、オレンジ色円筒形ブイとする。

9.2 コース 4 の場合、マーク 1 は緑色円錐形ブイ、マーク 4S および 4P は、オレンジ色円筒形ブイ、マーク 1A は、赤色円球形ブイとする。

9.3 スタート・マークは、  
と、ポートの端にある

9.4 コース 1、2、3 の場合、フィニッシュ・マークは、  
と、ポートの端にあるオレンジ色円球形ブイとする。

9.5 コース 4 の場合、フィニッシュ・マークは、  
と、スターボードの端にある赤色円球形ブイとする。

9.6 SI 11 に規定する新しいマーク 1、2 は黄色円筒形ブイ、マーク 3S、3P、4S、4P および 4A は赤色円筒形ブイとする。

9.7 ゲートを除きコースの次のレグの変更の信号を発するレース委員会艇は、SI11.2 で規定されるマークである。

## 10. スタート

10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールの間とす

- る。
- 10.2 他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・ラインから 100m の範囲を回避しなければならない。[DP]
- 10.3 スタート信号後 4 分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった (DNS)』と記録される。これは RRS A4 および A5 を変更している。
- 10.4 RRS 30.4(黒色旗規則)に以下を追加する。
- (a) セール番号は少なくとも 3 分間掲示する。番号を最初に掲示する時に長音が発せられる。番号が掲示された艇は、新しい準備信号までに SI 10.4(b)に定義されるレース・エリアを離れなければならない。それに従わない場合、その艇は『除外できない失格 (DNE)』として記録される。これは RRS 63.1 および A5 を変更している。
- (b) スタート信号前、レース・エリアはスタート・ラインから 100m の範囲とする。スタート信号後、レース・エリアはいずれかのフリートがレースを行っている間は、艇が通常帆走すると考えられる地点の外側 100m の範囲内と、コース 1、2、3 の場合、マーク 1、2、3S、4P および 5 を結んだ範囲とする。
- (c) レース委員会が RRS 62.1(a)に基づいて救済が与えられると判断した場合、RRS 30.4 違反艇のセール番号を掲示せず失格にしないことがある。これは RRS 30.4、60.2 および 63.1 を変更している。

11. コースの次のレグの変更

- 11.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマークを設置し(また

- はフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。
- 11.2 ゲートを除いて、艇は、次のレグの変更の信号を発しているレース委員会艇と近くのマークとの間を、マークをポートに見て、レース委員会艇をスターボードに見て通過しなければならない。これは RRS 28 を変更している。
- 11.3 レグの長さの伸縮を示す"+ "および"- "の信号は示されない。これは RRS 33(b)を変更している。
- 11.4 コース 4 のマーク 1 が変更される場合、マーク 1A は設置されない。

12. フィニッシュ

- 12.1 コース 1、2、3 の場合、フィニッシュ・ラインは、スターボードの端のフィニッシュ・マーク上のオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端のフィニッシュ・マークのコース側との間とする。
- 12.2 コース 4 の場合、フィニッシュ・ラインは、ポートの端のフィニッシュ・マーク上のオレンジ旗を掲揚しているポールと、スターボードの端のフィニッシュ・マークのコース側との間とする。

13. タイム・リミットとターゲット・タイム

- 13.1 タイム・リミットとターゲット・タイムは、次のとおりとする。

タイム・リミット	マーク 1 のタイム・リミット	ターゲット・タイム
90 分	30 分	45 分

マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースを

- 中止する。ターゲット・タイム通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは、RRS 62.1(a)を変更している。
- 13.2 RRS 30.3 または 30.4 に違反していない最初の艇が、RRS 28.1 に従ってコースを帆走して、フィニッシュ後 15 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった(DNF)』と記録される。これは、RRS 35、A4 および A5 を変更している。
14. 抗議と救済の要求
- 14.1 抗議書はプロテスト委員会事務局で入手できる。抗議および救済要求および審問の再開の要求は、適切な締切時間内にプロテスト委員会事務局に提出されなければならない。
- 14.2 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。
- 14.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告が掲示される。審問はプロテスト・ルームにて通告された時刻に行われる。
- 14.4 レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 14.5 SI 1.2 に基づき RRS 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、掲示される。
- 14.6 SI4.3、10.2、16、17、21、22 の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。これは RRS 60.1 を変更している。
- 14.7 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 30 分以内に提出されなければならない。これは RRS 62.2 を変更している。
15. 得点
- 15.1 本レガッタは 7 レースを予定し、2 レースを完了することで成立する。
- 15.2 4 レース未満しか完了しなかった場合、艇の大会の得点は、レースの得点の合計とする。4 レース以上完了した場合、艇の大会の得点は、最も悪い得点を除外したレースの得点の合計とする。
16. 安全規定
- 16.1 艇は毎日、出艇前に大会本部の所定の用紙にサインして出艇し、着艇後当日の抗議締切時刻以前にサインしなければならない。[SP]
- 16.2 レースからリタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。フィニッシュした後にリタイアする艇は、帰着後直ちに、抗議締切時刻以前に、大会本部のリタイア報告書にサインしなければならない。[DP]
- 16.3 衣服や個人装備を替えたり整えたりする一時的な間を除き、競技者は水上では常に膨張式ではない個人用浮揚用具を着用していなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは個人用浮揚用具ではない。これは RRS 40 を変更している。[DP]
- 16.4 救助を求める必要がある場合には"手のひらを広げて"振り、その意志を表わすこと。救助の必要がない場合には"こぶしを

2019 レーザーミッドウインターレガッタ 帆走指示書

握って"振ること。

- 16.5 必要とみなされた場合に、競技者は自艇を放棄してレスキュー・ボートに乗艇するよう運営艇に命じられることがある。強制救助に対しては、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。
- 16.6 直径 6mm、長さ 5m 以上のパウ・ラインをパウ・アイにつけておかなければならない。[DP]
- 16.7 マスト・トップに脱着可能な浮力体を取り付けてもよい。形状は球形に限り、1 か所のロープで取り付けなければならない。コンディションにより、付いたり外したりしてもよい。[DP]

17. 乗員の交代と装備の交換

- 17.1 競技者の交代は、許可されない。
- 17.2 選手は大会において 1 つのハル、セール、マスト、ブーム、センターボード、ラダーを使用しなくてはならない。[DP]
- 17.3 艇または装備が損傷した場合、レース委員長の書面での許可を受けた場合にのみ交換することができる。その日の最初のレースのスタート前 90 分以降からその日の最後のレースのスタート前までに破損が発生した場合、テクニカル委員会に口頭での臨時許可を得、その日の抗議締切時刻以前に書面での許可申し込みを行わなければならない。[DP]

18. 艇、装備および衣類の検査

- 18.1 艇と装備の検査を艇置き場にて受けなければならない。
- 18.2 艇、装備および衣類は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

- 19. 運営艇  
運営艇の標識は、次のとおりである。ただし、必要に応じて、次のとおりである。
- 19.1 レース委員会の運営艇は白色旗を掲揚する。
- 19.2 プロテスト委員会の運営艇は白色地に「H」の黒色文字の旗を掲揚する。
- 19.3 救助艇は白色地に RESCUE の赤色文字の旗を掲揚する。

艇が で ないカ 受 もげ て

20. 支援艇

- 20.1 チーム・リーダー、コーチその他の支援要員は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするかもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラヨ□ 装 □ジーヨ□ さく

ない そ し、レス ー にの場 を

20.2

20.3 レ サ 艇は □ ン が さ

レ サ ト 、 みみ 艇まごのレ サ □□□□ □

### 23. 賞

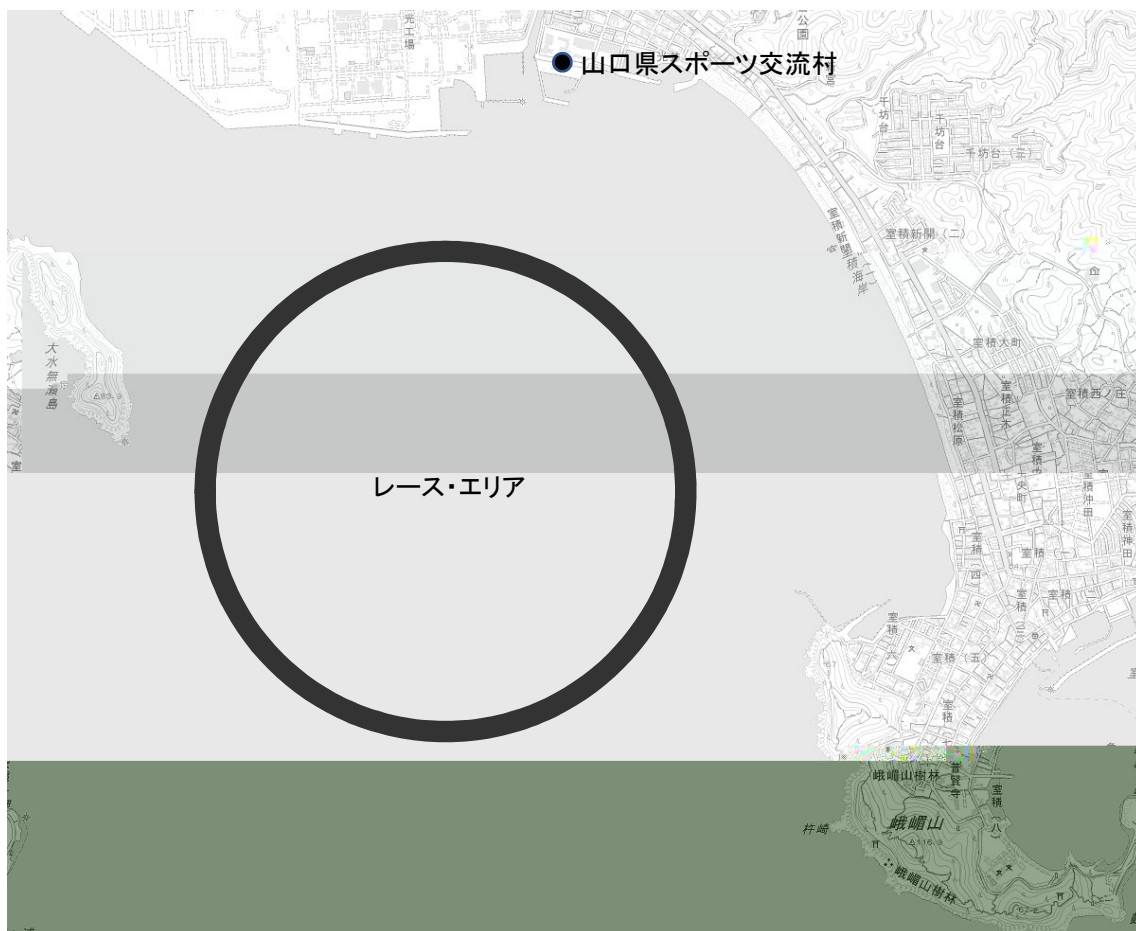
各クラス成績上位者には、賞が授与される。

### 24. 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。RRS 4(レースをすることの決定)参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

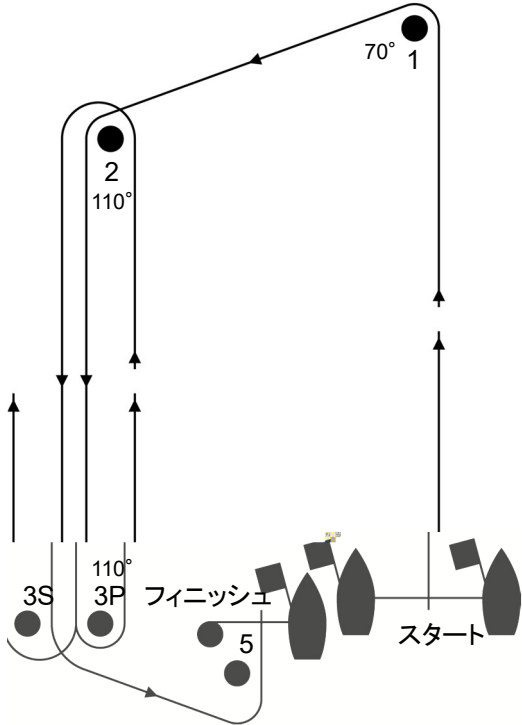
添付書

A0. レース・エリア



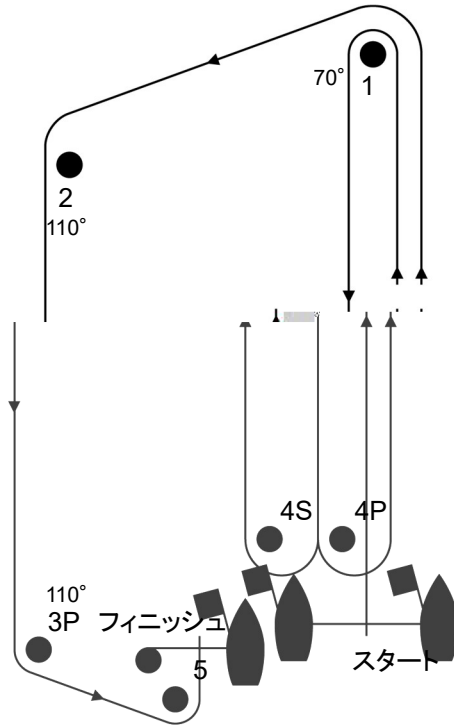
A1. コース 1

スタート-1-2-3S/3P-2-3P-5-フィニッシュ



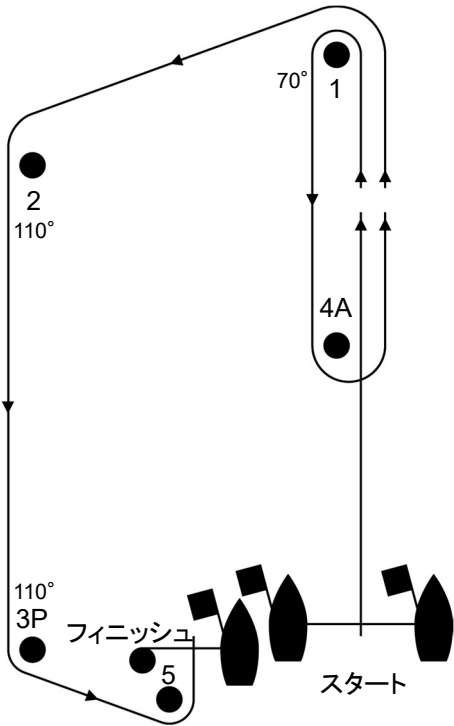
A2. コース 2

スタート-1-4S/4P-1-2-3P-5-フィニッシュ



A3. コース 3

スタート-1-4A-1-2-3P-5-フィニッシュ



A4. コース 4

スタート-1-1A-4S/4P-1-1A-4P-フィニッシュ

